

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2005-149658(P2005-149658A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-388321(P2003-388321)

【国際特許分類】

G 11 B 27/00 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

G 11 B 27/34 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/00 D

G 06 F 12/00 5 1 5 B

G 11 B 27/34 N

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に記録された複数のファイル間における参照関係に基づき、該記録媒体に記録されたファイルについて、当該ファイルを参照する他のファイルの有無を表す判定データを作成する判定データ作成手段を備えていることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項2】

上記判定データ作成手段は、上記判定データを、上記記録媒体に記録されたファイルを参照する他のファイルの数を示す被参照数情報として作成することを特徴とする請求項1に記載のデータ処理装置。

【請求項3】

上記判定データ作成手段は、上記被参照数情報を、上記記録媒体に記録されたファイルを参照する他のファイルの数と、該他のファイルを参照するさらに他のファイルの数とを示す情報として作成することを特徴とする請求項2に記載のデータ処理装置。

【請求項4】

上記判定データと、上記記録媒体に記録されたファイルとが関連付けられたテーブルである判定テーブルを作成する判定テーブル作成手段を備えていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項5】

上記判定テーブル作成手段は、上記記録媒体に記録されたファイルと、当該ファイルのデータ容量とを関連付けて、上記判定テーブルを作成することを特徴とする請求項4に記載のデータ処理装置。

【請求項6】

上記判定テーブル作成手段は、上記記録媒体に記録されたファイルと、当該ファイルの再生時間長とを関連付けて、上記判定テーブルを作成することを特徴とする請求項4または5に記載のデータ処理装置。

【請求項7】

上記判定テーブル作成手段は、上記記録媒体に記録されたファイルと、当該ファイルが重要なファイルとしてユーザに指定されているか否かを示すファイル保護情報とを関連付けて、上記判定テーブルを作成することを特徴とする請求項4から6のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項8】

上記判定テーブル作成手段は、上記記録媒体に記録されたファイルと、当該ファイルが作成された日時とを関連付けて、上記判定テーブルを作成することを特徴とする請求項4から7のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項9】

上記判定テーブル作成手段は、上記記録媒体に記録されたファイルと、当該ファイルのデータ種別とを関連付けて、上記判定テーブルを作成することを特徴とする請求項4から8のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項10】

上記判定テーブル作成手段は、上記判定テーブルを、上記記録媒体に記録された複数のファイルについて作成することを特徴とする請求項4から9のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項11】

上記記録媒体に記録されたファイルが他のファイルに参照されているか否かを、上記判定データに基づき表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項1から10のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項12】

上記記録媒体に記録されたファイルのうち、他のファイルに参照されていないファイルのみを、上記判定データに基づき表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項1から10のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項13】

上記被参照数情報を表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項2に記載のデータ処理装置。

【請求項14】

上記被参照数情報の相違を、明暗差により区別して表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項2に記載のデータ処理装置。

【請求項15】

上記被参照数情報の相違を、色彩差により区別して表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項2に記載のデータ処理装置。

【請求項16】

上記記録媒体に記録されたファイルを、上記判定データに基づき配列して表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項1から15のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項17】

上記記録媒体に記録されたファイルを、上記判定データに基づき該判定データに対応するフォルダに分類して表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項1から15のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項18】

上記記録媒体に記録されたファイルを、上記判定データに基づき配列した順番に再生するためのデータ再生処理手段を備えていることを特徴とする請求項1から15のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項19】

上記記録媒体に記録されたファイルについて、当該ファイルを参照している他のファイルを、上記判定データに基づき検索するファイル検索手段を備えていることを特徴とする請求項1から18のいずれか1項に記載のデータ処理装置。

【請求項20】

請求項 1 9 に記載のデータ処理装置により検索されたファイルのリストを表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2 1】

上記記録媒体に記録された他のファイルからその一部を参照されているファイルについて、当該ファイルにおける他のファイルから参照されていない部分を削除した場合に、上記記録媒体に確保されるデータ容量を、削除処理前に表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項 1 から 2 0 のいずれか 1 項に記載のデータ処理装置。

【請求項 2 2】

上記記録媒体に記録された他のファイルからその一部を参照されているファイルについて、当該ファイルにおける他のファイルから参照されていない部分を削除した場合に、上記記録媒体に確保されるデータの再生時間の長さを、削除処理前に表示するための画像表示処理手段を備えていることを特徴とする請求項 1 から 2 1 のいずれか 1 項に記載のデータ処理装置。

【請求項 2 3】

請求項 1 1 、 1 2 、 1 3 、 1 4 、 1 5 、 1 6 、 1 7 、 2 0 、 2 1 、および 2 2 に記載の画像表示処理手段による表示をユーザ指示に基づき選択して切り替えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2 4】

記録媒体に記録された複数のファイル間における参照関係に基づき、該記録媒体に記録されたファイルについて当該ファイルを参照する他のファイルの有無を表す判定データを作成することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 2 5】

コンピュータを請求項 1 から 2 3 のいずれか 1 項に記載のデータ処理装置における各手段として機能させるためのデータ処理プログラム。

【請求項 2 6】

請求項 2 5 に記載のプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。